

雄武町図書館を考える会会議議事録（第8回）

【開催要領】

- 1 開催日時 平成25年7月19日（金）19:00～20:20
- 2 場 所 雄武町民センター 2階会議室
- 3 出席者 15人

《考える会委員》

細田 尚孝 委員	吉田 雄二 委員	高橋 克美 委員
安田 将治 委員	加藤 洋美 委員	宇野 優子 委員
牧野 京子 委員	小田 嘉幸 委員	清水 伸一 委員
湯浅 純人 委員	久保 静枝 委員	金子 徳郎 委員
笹原 和広 委員	樫山 優子 委員	中村 葉子 委員

【会議次第】

- 1 開 会（事務局）
- 2 会長挨拶
- 3 議 事

【協議事項】

- (1) 提言事項（修正）について
 - (2) 提言の方法について
- 4 閉 会

【協議資料】

- 資料1 これからの雄武町図書館のあり方について（提言）
- 資料2 提言事項修正内容対照表

【概 要】

1 開 会（事務局）

（教育長）

第8回目の会議の開催が大変遅れてしまいましたことに深くお詫び差し上げたいと思います。

雄武町図書館を考える会につきましては、第1回目の会議を昨年5月24日に開催し、委員の皆さま方に議論をしていただきてきたところであり、第1回目の会議におきましても説明させていただきましたように、概ね8回程度の会議を開催しまして、平成24年12月中には提言の内容を取り纏めていただくということで事務を執り進めてきたところであり、

第7回目の会議が年を明けて、本年1月10日の開催となってしまいました。最終的な取り纏めとなります第8回目の会議につきましては、期間を開けずに、提言について審議をいただき纏めていただくという考え方で、事務局としましては考えていたところではありますが、会議の開催に至らず本日の開催となってしまいました。

会議の開催につきましては決して失念していた訳ではなく、早い時期に会議を開催しなければならないという思いを持っておりましたが、時期的に他の業務と輻輳してしまいまして会議を開催することができない状況が続いてしまいました。このような状況となったことに対しまして、委員の皆さま方に何の連絡も差し上げないで空白の期間を作ってしまったことに対しまして深くお詫びを申し上げたいと思います。

委員の皆さま方におかれましては、仕事が終わってお疲れのところ、会議に出席いただき、また、ご多用中の中ご参集をいただき、雄武町の図書館に対する熱い思いを議論していただきました。それにも関わらず、半年間の空白期間を作ってしまったということで、大変皆さま方にご迷惑をおかけしましたこと、教育委員会事務局の責任者として、皆さま方にお詫びを申し上げたいと思います。大変、申し訳ございませんでした。

委員の皆さま方には、これまでの事務局の進め方に対して、不快な気持ちを抱いていらっしゃることは十分存じております。しかし、魅力的な図書館づくりをするために、どうか本日の会議で、雄武町図書館のこれからのあり方について提言を纏めていただきますようお願いしたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

（事務局）

只今の教育長のお話に対しまして、何かご意見等はございませんか。

（委員一同）

意見等なし。

2 会長挨拶

(会長)

会長としまして、第8回目の会議を開催できますこと嬉しく思っております。ここまでこれましたのも、皆さんのお陰ということで、心より感謝申し上げます。

第3回目の会議で、図書館の課題ということで皆さんから51項目出されました。その後の会議で、解決策としてソフト面では98項目、ハード面では104項目、合わせて202項目の解決策が出されまして、これも皆さんの熱心な思いの賜物と思います。後ほど事務局から説明がありますが、事務局が纏めた提言ですが、先ほど申し上げました202項目の意見が、3つの柱の中で32項目に纏められております。

今日の会議が纏めとしてすばらしい協議になればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3 議 事 (会長による進行)

(会長)

協議事項1の提言事項について、事務局の説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは、提言事項についてご説明申し上げます。資料1につきましては、前回の会議でご提示した提言事項(素案)を糸賀先生の助言をもとに修文したものであります。資料2につきましては、修正前と修正後の内容を比較できるよう対照としたものであります。

まず、資料1ですが、表紙をめくっていただきました裏面が会長から町長宛ての提言文となっております。表現につきまして中段になりますが、「今後、新たな図書館の建設を強く希望するものであります」という表現にしております。これは前回の会議におきまして、建設するか否かに対しまして委員の皆さまの挙手により考えを確認させていただきまして、「建設を希望する」という意見が多数を占めましたので、このような表現にしております。ただ、将来の人口推移ですとか町の財政状況、施設を建設した際に採算がとれるかどうか、複合施設の部分で、大きな複合施設という意味から図書館機能に特化した読み聞かせスペースなどの多機能な部分のものまで検討する余地を残すということを念頭におきまして、「将来の人口推移及び町の財政状況並びに既存の社会教育施設との有機的連携等に配慮」という表現を盛り込んでおります。考える会の基本的な考え方については、「建設する」というものであります。建設する際には「将来の人口推移及び町の財政状況並びに既存の社会教育施設との有機的連携等」を勘案して、決して過度な規模の施設にならないようにという意味を込めた記載としております。

具体的な提言事項の内容についてであります。前回の会議で案として

ご提示したものを、委員の皆さまの意見及び糸賀先生の助言をもとに修文を施した内容となっております。

提言事項1であります。『誰にでも居場所がある図書館であって欲しい』という表現としております。これは、町民誰もが「安心してくつろげる・自分の好きな時間に立ち寄れる。家族でも1人でも気軽に行きやすい」という図書館づくりをすれば、居心地が良く、より多くの人に利用されるであろうということでもあります。

提言事項の2であります。『地域の情報拠点となる図書館であって欲しい』という表現としております。これは、「図書館は、地域のためにどのような機能を果たすべき施設か」ということを考えたとき、図書館は情報をたくさん集めるのは当然であるが、町民も図書館から得た情報を町（地域）に情報発信していくということから、「地域の情報拠点」という言葉をキーワードにしております。

提言事項の3であります。『町民の暮らしに役立つ、やさしい図書館であって欲しい』という表現としております。例えば、「趣味や体力・健康づくりに関すること・仕事に役立つこと・家族で旅行に行こうとなった際に色々と調べることができる」など、色々な場面で役に立ち生活に密着しているという意味であり、当初、「町民の課題解決」という表現としておりましたが、一般の人にもわかりやすいよう「暮らしに役立つ、やさしい」という表現にしております。

すべての提言事項の次に、これまでの委員の皆さまからいただきました意見を「主な意見」として枠内に盛り込み、それらの意見を集約して文言化した内容を枠の上段に記載しております。

簡単ではございますが、以上で説明を終わります。

(会 長)

只今、事務局から提言事項について説明がありましたが、何かありましたらご発言をお願いいたします。

(委 員)

新しい図書館を建てた後の、開館の時間等については提言の中に盛り込まれないのか。「遅くまで開いていて欲しい」という声がある。

(事務局)

提言の内容について取り纏めていただくということでありまして、時間の関係につきましては、現在、午後7時まで開館しておりますが、そのような意見があるということでしたら、現状の中で対応できるかどうか検討するというので、提言の中でというより、むしろ今後の図書館の運営の中で考えていきたいと思っております。

(会 長)

他にございませんか。無いようですので、提言事項につきまして、この

案を承認するということでよろしいでしょうか。

(委員一同)

はい。

(会 長)

それでは、協議事項2の提言の方法について、事務局の説明をお願いいたします。

(事務局)

提言の方法であります。考える会から町長へ提言書を手渡すというものであり、事務局としまして2通りを考えております。まず1つは、正・副会長が町長に面会し提言書を手渡す、もう1つは、正・副会長の他に同席したいという委員がおられましたら同席の上、町長に提言書を手渡すというものであります。この2つの方法についてお諮りしたいと思います。

(会 長)

只今、事務局から2通りの方法について説明がありました。如何でしょうか。

(委 員)

正・副会長でよろしいと思いますが。

(会 長)

正・副会長でよろしいでしょうか。

(委員一同)

はい。

(事務局)

提言書を手渡す日程であります。町長と正・副会長の日程を調整しまして、22日の月曜日にご連絡したいと思いますのでよろしく願いいたします。

(会 長)

それでは、これで議事を終わります。その他、全体を通して何かございませんか。

(委 員)

議会に対して、将来的に何年先になるとしても、建設したいという中にこの提言がプラスアルファされると思いますが、ここまできて提言はするけれども建設する気はないということはないと思うが、概ねの話でいいですから、こういう考えでいるようだということを教えていただけたら、私たちが協議してきた甲斐もあると思うので、提言をしたその日に建設する気はないというのであれば、すべて水の泡になってしまうと思いますので。

(教育長)

最初の会議でもお話ししましたが、町長の思いは、皆さんが描いていらっしゃる図書館像、今の図書館は図書館の機能としての役割を果たしてい

ないという思いがあります。そういう中で、雄武町図書館を考える会の中で、これからの図書館のあり方について議論していただき、提言をいただいた上で図書館の建設につなげたいという思いを持っております。ただ、大きな建物を建設するということになると、雄武町の最上位計画である総合計画に登載して計画を練っていかなければなりませんので、この提言をいただいた後で、総合計画に登載して、議会と検討し合いながら早期の建設を目指して進めていくことになろうかと思っております。

(委員)

お願いですけれども、提言ということになりますが、大きな動きはすぐには出てこない、多少時間はかかると思いますが、これだけの素晴らしいメンバーが雄武町図書館を考える会という組織づくりをしてくれました。これを今日で解散ということではなく、委員の皆さん方の英知を引き継ぐということで、関心のある方に関して、この組織を連動させながら設計とかまでには入っていきませんが、基本的な部分に関しては、町民の考え方を聞くというスタイルとして環境を残していただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(会長)

只今のご意見について皆さんいかがでしょうか。

(委員一同)

よろしいと思っております。

(教育長)

図書館の建設に当たっては多額の経費を要しますので、町民の皆さんが利用しやすい施設となるように、町民の皆さんの意見を聞いて、計画を練っていくことが必要だと思っております。

(会長)

他にございませんか。無いようですので協議を終わります。

それでは、会長として挨拶をさせていただきます。これまで、8回の会議をさせていただきまして本当にありがとうございました。委員皆さんの熱意に本当に感謝しております。

先日、日本のある大企業の企画会議において、皆が一致して賛成した場合、社長が会議のやり直しを命じるという内容の記事を見ました。真意は、話し合いが深まっていく中で、賛成もあれば反対もあるということで、結論が深まっていないというものでありました。

今までの協議の中で、先ほども申しましたが202項目の方策が出されました。委員皆さん、色々な考え方があった訳ですが、それは違っていいのではないかと思います。違う考え方が出てくるということはそれだけ議論が深まったと確信しております。

この後、提言に行く訳ですが、皆さんの思いを精一杯町長に伝えて参り

たいと思います。長い間ありがとうございました。

(教育長)

8回に渡りました会議の中で、委員の皆さんからいただきました貴重なご意見を教育委員会、町長さらには町議会に対して十分な説明をしていきたいと思います。これまでに議論いただきましたソフト関係については、今の図書館であっても直ちに実行できるものがあると思います。できることから進めまして、魅力ある図書館づくりに努めていきたいと思います。この度、委員の皆さんに纏めていただきました提言に沿えますよう、新たな図書館の建設に向けまして雄武町の最上位計画であります総合計画に登載して進めていきたいと思っております。

今後とも図書館運営に対しましてご意見をいただきまして、町民の皆さんに親しまれる図書館づくりをしていきたいと思いますので、これからも皆さんからご意見をいただきますようよろしく願いしまして、提言書作成にあたりお礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

これを持ちまして、第8回雄武町図書館を考える会会議を閉会いたします。ありがとうございました。